

## アーククルーズ通常総会



5月20日、平成19年度NPO法人alaクルーズの通常総会が洋室ワークショップルームで開催されました。10時30分に中村理事の司会で始まり、鬼頭理事の開会の辞の後、定数の確認が行なわれ、会員数61名のうち委任状を含め49名が出席しました。また財団からは来賓として衛館長、籠橋事務局長、山口創造事業課長が出席されました。まず、澤野理事長が挨拶をされ、当初、会員数が120名余の人数だったが現在半減してしまいました。みんなが楽しみを感じながら活動してもらいたい。併せて、事業の推進をグループ単位でなく、全員が一緒になって活動をしていきたいと述べられました。その後、議長に支援グループの大坪さんが指名され、議事に入りました。平成18年度事業報告が大石副理事長から、会計報告が奥田理事より報告され、全会一致で承認されました。続いて平成19年度の事業計画案と予算案が提案され、同様に全会一致で承認可決されました。最後

に来賓の衛館長よりご挨拶をいただきました。ボランティアはまず自分が楽しむこと、ここで活動することに誇りを持つこと。そしてそれが人の為にもなるのだと強調されました。総会は11時10分に終了し、引き続き交流会が開催されました。寺松監事の司会で始まり、籠橋事務局長の乾杯のあと食事をしながらの懇談となりました。その後恒例?のビンゴゲームが寺松、奥村(政)、山内さんの進行で始まりました。今回の最高賞品はDVDプレーヤーということでみんな数字が告げられる度に一喜一憂し会場がざわめいていました。やがてビンゴ達成者が出始めましたが喜ぶのはまだ早く、さらにくじをひいて賞品が決まる仕掛けになっていました。他にも景品が豊富に揃えられ次々にビンゴ達成者に渡されていきました。楽しかったビンゴゲームも全員に景品がいきわたり、2時過ぎに散会となりました。



総会の様子



# アーツボランティアフォーラム2007



澤野理事長



清水教授



衛館長

Arts Volunteer Forum 2007

元気になろう!!  
アーツボランティア  
フォーラム2007

7月1日午前10時より「アーツ ボランティア フォーラム2007」が可児市文化創造センターで特定非営利活動法人alaクルーズ、(財)かすがい市民文化財団平成19年度フロントスタッフ、岐阜市文化センター・岐阜市民会館 市民スタッフ「G-Free」、NPOたけとよ(NPO 武豊文化創造協会)、長久手文化の家フレンズ、ふそう文化夢応援団、山県市文化の里花咲きホールボランティア、木曾川文化会館住民ワークショップの総勢84名の参加者で開催されました。先ず映像シアターで澤野理事長、衛館長の挨拶、続いて清水教授の講演がはじまりました。「ホールボランティアこれまで、これから」と題し13の項目を語られ、皆さん熱心に聞き入っていました。その後、施設見学を行い、12時から各テーブルに別れ食事を取りながら交流会が行われました。食事が終わりさて本題、各グループの自己紹介、その後交流会議が行われました。今、各グループが抱えている問題をどのように対処してきたか、また、どのように対処すべきかを経験を踏まえて、ディスカッション 1、「ボランティア活動に参加する会員の意識について。」2、「文化ボランティアの活動に対し、市民が何を望み、どのように写っているかなど。」3、「ボランティアと施設側との関係は?。」の議題に対して参加者全員で検討しました。最後に衛館長より、ボランティア活動に対する熱き思いの総評をいただき、午後4時30分、長い時間をかけ、検討、討議し実施した「アーツ ボランティア フォーラム2007」が終了しました。



受付の準備



施設見学



受付開始! 続々来場です



会場内



# アーツボランティアフォーラム2007



## 「alaクルーズのフォーラムへの思い」

alaクルーズも6年目に入り、活動が安定するにつれ会員自身の気持ちに少し停滞感が感じられ、「このままでは・・・」と不安を抱くなか、その打開策を早期に講じなければならないとの思いより、日ごろの活動とは違った形で会員にとって刺激となり、そしてまた、これまでの活動を通じて充分ではなかった、ネットワークの構築や情報発信の部分をつまみ行ったのが、今回の「アーツボランティアフォーラム2007」の開催でした。このフォーラム開催については、当初理事会に於いてもこれまでにクルーズが行ったことのない事業内容であり、どれだけの方に参加いただけるなど、不確定な要素を含んだもので、賛否両論ありましたが、課題を解消するこれと言った方法も見当たらず、開催に向けてのスタートでした。具体的に進むにつれて、このような内容のものが過去に行われなかったこともあり、反応も多くありalaクルーズのみならず、他のボランティア団体も同じような思いであることが確信できました。そのような中で、文化行政にお詳しい衛館長が就任されたことは、私たちにとってこの上なくタイムリーなことでした。フォーラムを無事終了し、参加された皆さんも満足して、お帰りになられたと思います。「ボランティアの池に小石を投ずる」ことができ、今後の展開に繋がる収穫も大いに得られたとおもいます。実行委員会の皆さま長い間ご苦勞様でした。また、ご協力いただきました財団の皆さまにお礼申し上げます（S）

アーツボランティアフォーラム 2007 に参加して  
今回、「文化ボランティア」の存在が薄いのではと思いつつ参加しましたが、多くの方が活動している事に驚きました。皆さん、とても意欲的で、すごいパワーを持って、臨んでいらっしゃいました。午前中の、清水先生の講演では、ホールボランティアの存在と重要性が、一般市民にも認識されつつあるが、まだ十分ではない事。また、パブリックシアターの必要性など、課題がある等考えさせられました。午後からの、食事をはさんでの交流会では、テーブルごとで活動の事、星乃先生の講習の事など、話が盛り上がりしました。各団体の活動報告では、こんな活動もあるのだと感心したり、つい私たちもあれもこれもやってみたいと思うばかりでした。しかし、会員数の問題や、年齢の問題など、抱えている事は同じで、これからが大事だと感じました。私は、ボランティアを行う事により、生きがい、喜び、楽しみ、達成感などを持ち、臨んで行きたいと思えます。また、NPO法人になり、支え合い、よりよい物を作り上げて行く事に、多少なりとも、お手伝いが出来ればと思います。今回、多くの方の、生の声が聞く事が出来、益々、張り切ってしまうそうです。





# 「第4回クルーズコンサート」

平成19年12月16日  
開催決定!!

只今企画進行中  
お楽しみに!

決定!!



## ご挨拶

このアーラの建設および開館当時、市長の言葉や関連記事には「文化の創造と発信に期待する」という言葉が数多く踊っていました。当時広報にいた関係で、常套句として使っていたものです。アーラの勤務となり3カ月経ったところですが、軽々しく使ったこの言葉の持つ意味が、実は大変重く、しかもとても難しいことであることを実感しつつ、責任の重さもひしひしと感じているところです。alaクルーズの皆様には、財団との両輪としてこの「文化の創造と発信」のためご尽力をいただいております。日々のご努力に対し敬意を表するものでございます。先のボランティアフォーラムの企画・実施にも見られるように、先進の文化NPO法人として益々のご活躍を期待しております。何よりも「自分が楽しむ」ことにより、来館者にも極上の楽しさが伝わるものであることを確信しております。

可児市文化芸術振興財団  
創造事業課長 山口 功

## 編集後記

アーラが開館して5周年になります。毎年夏が来ると、あの猛烈に暑かった日を思い出します。広報誌も既に17号になりました。総会で会員数の減少が話題になりましたが、広報誌も少数精鋭で作成しております。今号の出来栄はいかがでしょうか。ご感想もお知らせください。7月1日に第1回アーツボランティアフォーラム2007が開催され各地のホールボランティア8団体84名が参加しました。予想をはるかに上回る参加者に、皆さんの関心の高さを再認識しました。お互いに活動を発表し交流を深めました。なかでもalaクルーズの活動は際立っていたように思いました。これからも他の模範となるような活動を進めていきたい\*のですね。\* (o)

alaクルーズ事務局 TEL/FAX : 0574-61-3414  
<http://www.kpac.or.jp/alacrews/>  
Mail : [alacrews@kpac.or.jp](mailto:alacrews@kpac.or.jp)

